

令和3年度 教育部運営方針

部局名 : 教育部

部局長名 : 丸山 理佳

基本方針（政策目標）

教育部は、学校・社会教育施設などの教育機関を管理・更新し、学校の組織編制や教育課程、教科書採択などの事務を行うとともに、社会教育や学術・文化、青少年育成やスポーツ振興に関する事務の管理・執行を行うなど、教育行政を担います。施策の推進にあたっては、「泉大津市教育振興基本計画」「泉大津市生涯学習推進計画」「学校園に対する教育方針」に基づき、様々な教育環境の変化にも対応し、総合的・計画的で先進的な教育行政の推進を図ります。

①知の拠点、まちづくりの拠点としてオープンする新図書館『シープラ』を集い・学び、そして様々な交流が生まれ、市民の皆さまに愛される図書館になるよう運営します。

②学校長寿命化改良工事を進めるにあたり「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を推進するため、地域交流ゾーンを整備するとともに、教育委員会が所管する施設の効果的・効率的な配置を検討し、教育施設再編計画を策定します。

③小津中学校区において令和3年度より始まった小中一貫教育の取り組みをモデルとして、他の中学校区においても小中一貫教育をスタートできるよう、教職員の意識の醸成と小中9年間を通した取組みの充実を図ります。

④新学習指導要領が求める資質・能力を育成するため、授業づくりや評価に関する研修の充実を図るとともに、GIGAスクール構想により全児童・生徒に導入したタブレット端末を学力向上の有効なツールとして、積極的に活用できるよう努めます。また、家庭学習や放課後学習等、授業以外においても学習者が主体的な学びを実現できるよう、個別最適化された学習環境を整え、学校全体で児童・生徒の学力向上に向けた取組みを推進します。

さらに、校務支援システムの機能を効果的に活用しながら、学校や市域全体で業務の最適化を図ります。

- ⑤留守家庭児童会（仲よし学級）の通年利用とは別に、保護者のニーズに対応した夏休みなどの長期休業期間限定の仲よし学級を事業委託で開設し、学童保育のサービス向上を図ります。
- ⑥情報化社会の進展、新型コロナウイルスの感染拡大など社会環境が大きく変わる中、これからも魅力的で持続可能な都市として文化芸術のさらなる振興を図るため、「第3次泉大津市文化芸術振興計画」を策定します。
- ⑦学校給食における児童生徒の健全な体づくりやその啓発について、オーガニック食材の調査研究を実施します。